

代表質問・一般質問

市の明日を考える!

3月定例会では、5会派5人の議員が市政に対する代表質問を行いました。
また、引き続き15人の議員により一般質問も行われました。
主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画映像をご覧くださいます。

[発言順]



野地 久夫

[市政刷新会議]

問 二本松城跡資料調査業務の目的は。

答 **部長** 三の丸御殿復元を含め丹羽氏時代の遺構を中心に整備することを計画している。

問 三の丸復元に向け資料収集等元年度成果は。

答 **部長** 210団体にアンケート調査したが三の丸御殿の新たな資料は無かった。

問 市長は文化庁を訪ね復元の成果はあったか。

答 **市長** 二本松城の歴史や三の丸御殿の復元に向け説明し、現在も協力を願っている。

問 市長は文化庁での成果を述べないので、文化

二本松城跡資料調査業務（三の丸御殿復元資料調査業務）について問う

庁での成果はないものと思われる。それでは、三の丸復元に資料や文献等何が必要なのか。

答 **部長** 発掘調査の成果、図面（平面図、立面図等）、写真は最低限必要である。

問 その必要な資料等は何が揃っているのか。

答 **部長** 発掘調査で丹羽氏の居屋敷の存在が判明している。写真は無い、図面は絵図がある。

問 三の丸復元に向けた重要な資料は無いと言われるのでは。令和2年度の調査内容は何か。

答 元年に出来ない事項をしっかりと取り組む。

代表質問

GIGAスクール整備で教職員の専門性の発揮は

二本松駅南住宅団地の規模及び進捗状況は

問 子どもたちが人との関りの中で豊かに学び、教職員が専門性を発揮するには、コンピューターではなく、教職員を増やすことでは。

答 GIGAスクール構想を前向きに受け止め、子どもたちが学習の手段として自ら取り入れ、学びを深めていくような教育実践を目指したい。

問 安達地区特別支援学校整備の今後の方向性は。

答 令和2年度に旧建設技術学院解体及び敷地造成測量設計業務委託、令和3年度に造成工事を行う。県教育委員会は現在、基本計画を策定中で



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

あり、今後、地質調査、基本設計の後、実施設計・建築工事の予定と報告を受けている。

問 駅南地区整備事業に合わせた住宅団地の規模や今後の計画は。

答 住宅団地の計画面積は全体で約1.35ha、宅地は34区画ほどで、面積は約7,700㎡。道路や公園・調整池などの公共面積は約5,800㎡の予定。令和元年度は造成設計、令和2年度は用地買収及び物件補償を予定し、令和3年度は造成工事、令和4年度は分譲開始する予定。



本多 俊昭

[令和創生の会]

代表質問

助産所設置を検討する考えは

二本松駅連絡通路に橋上改札の考えは

問 産科医師確保が困難である場合、医師確保から普通分娩のみではあるが、「産めるまちづくり」を目指して、助産師を活用した助産所設置の考えについて伺う。

答 過去に本市でも検討を行った経緯はあるが、異常分娩や容体の急変等への対応を想定した場合、対応できる医療機関が市内にないなど、高いリスクを伴うことから、助産所の設置については、現時点では考えていない。

問 二本松駅南地区整備計画では、安達駅と同様に

利便性を考え、連絡通路内に橋上改札を設置する考えについて伺う。

答 現在の整備計画では、駅南広場から駅北広場を結ぶエレベーターを併設した自由通路を計画している。駅利用者の利便性向上を目指し、安達駅のような橋上改札についても、自由通路からホームに降りられる橋上駅が可能かをJR東日本と協議を開始したところである。今後も引き続き、整備に要する費用や条件などJR東日本と協議を重ねながら検討していく。

代表質問

最終年度を迎える新総合計画の達成率は

幼稚園と保育園の合併は

問 アクションプラン基本目標4つについて、達成率はどのようになっているか。

答 「子どもや若者の未来を創るまち」では、概ね目標達成が見込まれる状況である。「郷土愛にあふれ活力と賑わいのあるまち」では、観光客やI・J・Uターンは、目標を達成している。新規創業、就農はあと一歩という状況である。「いつまでも元気で生きがいのもてるまち」では、健康スポーツ、図書館貸出冊数は6割から8割の達成状況になっている。「助け合い、



平塚 與志一

[真誠会]

支え合い、安全に安心して暮らせるまち」では、医療福祉、安全安心なまちづくり、ごみの排出、交通事故抑制の達成率は80%である。

問 幼稚園と保育園を合併させることはできないか。

答 国の一定基準を満たした場合、既存の保育所・幼稚園に相互の機能を持たせることは可能である。これが、認定こども園となれば、子育て支援センターを設置し、子育ての相談、情報提供等を行うことが必要になる。



安齋 政保

[市政会]

代表質問

水道事業の状況は

問 上水道第6次拡張計画の完了年度はいつか。

答 令和6年度完了を予定しているが、現計画事業を実施しながら、水道未普及地域解消に向けた事業が、現計画の中での変更で対応できるか、もしくは新たな計画の中で対応していくのか、現在、調整中であり、完了年度については、それによって変動する可能性がある。

問 上水道未普及地域解消の政策は。

答 現在各家庭で使用している井戸水の水質や水量の関係から、早急に安全で安定した水道水

に切り替えが必要な地区から取り組む必要があると考えている。なお、水道給水区域外での井戸ボーリング補助は、次年度から補助内容の拡充を図り受益者負担の軽減と生活用水の確保に努めていく。

問 水道料金統一をどう進めていくのか。

答 総合的かつ慎重に検討しなければならない課題であり、当初予定していた令和2年度での改定は見送る方向で検討していきたいと考えている。